

沼田川に初めて橋を架けた ● 定屋和尚

じょうおくおしょう



この写真を見てごらん。
新倉町と明神町をつなぐ
定屋大橋の昔の写真じゃ。



▲木造のころの定屋大橋 (雙照院提供)



木できていて、今と全然違いますね。定屋ってどういう意味ですか。



定屋とは、江戸時代にこの橋を造った人の名前じゃよ。田野浦町にある雙照

院の和尚さんだったんじゃ。



▲定屋和尚が修行した雙照院 (田野浦三丁目)



和尚さんがどうして橋を造ったのですか？



橋がなかった当時、人々は向こう岸まで船で渡ったり、引き潮のときに歩いて渡ったりしていたんじゃ。人が流されることもあったし、洪水だと渡れないから、不便だったんじゃ。



渡りたいときに渡れないなんて大変だな。



人々のためになんとか橋を架けたいと思っていたのは、定屋和尚の師匠じゃ。その意思を継いだ定屋和尚が、66歳のときにやっと橋を造ったんじゃよ。



造るためのお金はどうしたのですか？



生活を切り詰めて、托鉢たくはつに励んだんじゃ。托鉢とは、家を回って、お経を唱える代わりにお金や食べ物をもたらう修行のことじゃ。



橋を架けようと苦労したんですね。



橋を造った後も、雙照院の田畑を売ったお金を、

橋を守る費用として寄付したんじゃよ。広島藩の殿様がその行動に感動して、定屋和尚の名前を橋の名前にしたんじゃ。現在の橋は6代目で、橋の近くには記念碑も残っておりますぞ。



▲定屋和尚の記念碑



そんな歴史のある橋だとは知りませんでした。今度、記念碑を見に行きます。